



9月1日(木) 10:00-13:00

●経済学部2年(男子) 中学社会・地理 『近畿地方の自然環境』

*経済学部4年(男子) 高校公民・現代社会 『市場経済のしくみ』

9月8日(木) 10:00-13:00

●経済学部2年(男子) 中学社会・地理 『琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏』

*経済学部4年(男子) 中学社会・歴史 『弥生文化と邪馬台国』

9月15日(木) 10:00-13:00

●経済学部2年(男子) 中学社会・地理 『臨海部の埋め立てと環境に配慮した工業』

☆経済学部2年(男子) 中学社会・歴史 『貿易の振興から鎖国へ』 →リハーサル+授業相談

9月20日(火) 10:00-11:30

*経済学部2年(男子) 中学社会・歴史 『貿易の振興から鎖国へ』 本番!!

9月1日(木) 諸事情により省略←申し訳ありません。

9月8日(木)

●経済学部2年(男子) 中学社会・地理

『琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏』



●今回の授業は、教育実習に備えた授業となっています。3週連続の授業構成ということで、今月の模擬授業の準備をしてもらいました。教育実習では連日で授業を行うことが多いと思います。その点を踏まえ、一連のつながりを重視した授業を作り上げることができたでしょう。

●授業の初めは前回の授業の反省から始まり、まさに中学校で受けたことのあるような授業となっていました。

●本時は教科書を有効活用していた授業でした。教科書本文を読ませたり、掲載されている資料を一緒に考えさせたりする、そんな素晴らしい授業でした。

9月8日(木)本時授業参観者による感想

経済学部4年(男子)

前回までは教科書のみで授業を行っていたが、今回は資料集を所々で活用していたので、より深く内容を理解できた。板書も綺麗にまとめられていて、きちんと板書計画もまとめているなという印象を受けた。ただもう少しゆとりを持って書けたらいいと思う。すこし行間が詰まりすぎていて人によっては見にくいと感じる人もいると思う。赤潮について、なぜ赤潮が発生するのかをイラストを交えて説明していたのは良かった。ここで資料集の赤潮の写真が載っているページを見せたら面白かったと思う。それが赤潮の写真を拡大コピーして黒板に貼ってもいいと思う。

経済学部2年(男子) 授業者自身

先週から繋がっての授業でした。復習から入るのは初めてで授業を作る時点でどうやって復習をすればいいかわからず口頭のみになってしまいました。中身としては、琵琶湖の環境問題を中心に近畿地方を見ていきました。葦の写真を用意したいすればもう少し伝わりやすかったと思いました。また、誤字や見にくい漢字が多く、そこは反省して次に繋げなければならないと思いました。

9月8日(木)

●経済学部4年(男子) 中学社会・歴史

『弥生文化と邪馬台国』



証拠品リスト

縄文時代～弥生時代

●冒頭から学生側の気持ちを一気に引き付けました。「証拠品リスト」を配布し、縄文時代と弥生時代の出土品を比較し、時代の変化とともに、どのような変化があったのかを資料をもとに推測していく、そんな授業でした。考古学者になって、研究する学者の気分を味わえました。

●板書では、時代ごとの比較をして学生にとって見やすいよう心掛けがなされていました。言葉の1つ1つが丁寧で非常に分かりやすかった。

→この授業者は、常に生徒側に寄り添う姿勢があり、また温かい眼差しや、生徒側の意見を寛容な心で受け止める気持ちがあり、とても受けやすい授業でした。

問いかけから、生徒側の意見に対する対応は、どの学生よりも上手だと私は思います。私自身、良いところを真似して、模擬授業者から多くのことを学びました。

9月8日(木)本時授業参観者による感想

経済学部4年(男子) 授業者自身

資料に凝りすぎて中身が薄かったかなと思う。もっと資料の選択やそこからの繋げ方を考えれば良かったなと思う。農具の登場から稲作に結びつけたり、土偶などの呪術的な意味を持つものが銅鐸や銅剣に変化していったことは、弥生時代の歴史を知っているから分かるのであって、実際の生徒はそんなにうまく授業が進まないのではないかと思った。生徒から出た意見を板書するときと、内容をまとめる時の板書をどう分けるか説明していないという意見があったが、そこまで考えていなかったなと気づかされた。そこまで注意を払って展開しなくてはならないことを学んだ。板書の計画と違う位置に書いてしまったところがあったので、きちんと分かりやすくまとめなければならないと感じた。

経済学部2年(男子)

証拠品リストという子供達が食いつきそうな内容で自分自身も楽しめました。

比較するということは同時に時代の変化も理解できてとても良かったです。

町田さんの授業を見るたびにワークの内容や導入で感動します。

経済学部 2 年生(男子)の模擬授業リハーサル



緊張していたと授業後に語る 2 年生。
そんな様子を見せず、落ち着いた調子で自身の
ペースで授業を展開していました。
まずは肝心の教材研究を念入りに行っているの
が、学生側の質問に完答していました。素晴ら
しい姿勢です。



9 月 15 日 (木)

●経済学部 2 年(男子) 中学社会・地理

『臨海部の埋め立てと環境に配慮した工業』



●3 週連続授業の最後。本時は夏休み最後の模擬授業。授業者自身、かなり力がついたのでないでしょうか。最初に比べて授業の作り方や、話し方、板書のとり方も上手になりました。落ち着いた表情や生徒側を見る余裕をもった気持ちは本当の教師のようでした。

●日本国内の、重要な工業地帯を最初に抑え、本時の阪神工業地帯に入っていく流れは素晴らしかったです。地図を黒板に書き、生徒側に把握しやすいよう心がけがなされていました。「地盤沈下」などの難しい単語についても図を用いて、丁寧な説明がされていて、とてもわかりやすかったです。

9月15日(木)本時授業参観者による感想
「臨海部の埋め立てと環境に配慮した工業」について

経済学部2年(男子)

板書が書き終わった時に、周りを見て生徒の書き終わっているかどうかを確認しているのが良かった。
日本地図のところに、数字の表示があるともっとわかりやすくなると思った。
最後の問いの前に、対策なのか問題自体を考えるのか、指示があると良かった。

経済学部4年(男子)

生徒を見る余裕が出てきたと思う。授業を先に進めようとした時に、まだ書いている人が目に入ると、書き終えるまで待っていたいしたのは流石だと思った。間違いなく2年生の中で1番授業をやっているので、経験値の高さを感じた。ただ板書をもう少し工夫出来たら良いと思う。導入に各工業地帯を地図に示したのは良かったが、それがどの工業地帯を表しているのか示した方が良かった。環境問題のところでも「問題点→解決策」のようにシンプルに示せば見やすいと思った。またサフタイトルを書いている箇所と書いていない箇所があったので、統一しなければならなかったと思った。中小企業の解説をするとき、板書は教科書の文をそのまま書いている感じがあったので、資料集の人工衛星を組み立てる会社など、具体例をあげた方が、興味を持つと思う。

最後の問いに関しては展開の方法を工夫した方がいいと思った。住宅地に工場があると近隣の住民にどんな被害があるのかを考えさせるのか、それとも解決策を考えさせるのかハッキリ言わないと分かりにくいかなと思った。

9月15日(木)本時授業参観者による感想
「貿易の振興から鎖国へ」について～リハーサル～

経済学部4年(男子)

50分授業をするのが初めてとは思えないほど落ち着いていたと思う。
知識の量も豊富で言葉もスラスラ出てきていたので良かった。
ただ授業の展開の仕方にもう少し気をつければ良かったと思う。
それを1番感じたのは生徒への問いの出し方だった。何を考えればいいのか分からないことが多かったので、抽象的な質問をするのではなく、もう少しわかりやすい言葉を選んで聞ければいいかなと思う。
次回からは問いの出し方と堂々と胸を張って授業が出来れば、レベルの高い授業ができると思う。

学生企画責任者：佐野より

- 今回経済学部2年生に実施したように、模擬授業のリハーサルも行っています。1つの授業を1度で終わらせるのではなく、1つの授業で反省を多く見つけ、また次の模擬授業時に生かせるように反省会を行っています。模擬授業を繰り返すことで、1つの授業でかなりの自信をつけることができたのではないでしょう。
- 「模擬授業の模擬授業」を15日に行いました。20日の模擬授業に備えて、多くの準備をしようという2年生の意識の高さには感心するばかりです。

●経済学部 2 年(男子) 中学社会・歴史

『貿易の振興から鎖国へ』

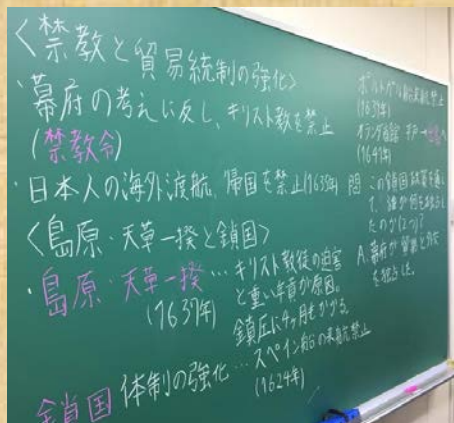
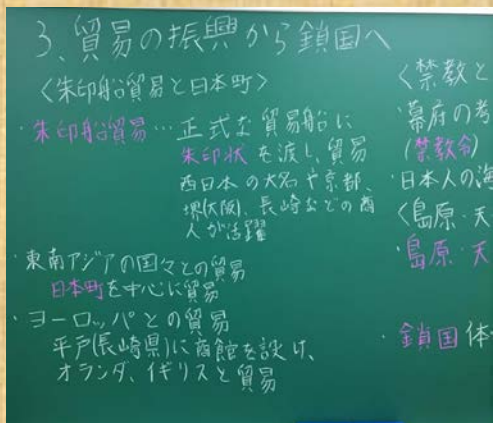
15日の模擬授業リハーサルから、本番へ！！！！

●やる気と熱意にあふれた、この学生はリハーサルを15日(木)に行いました。リハーサルでは、「具体的な問いかけを心掛ける」・「机間巡視をしよう」・「初めて受ける中学生に向けて授業をしているという気持ちをもつこと」など、授業参観者から多くの反省点をもらいました。

●さて、本時はそのリハーサルを踏まえての授業内容です。

⇒日本で行われていた貿易（勘合貿易＝日明貿易）から入り、朱印船貿易へもっていく授業冒頭はスムーズで分かりやすかったです。

本時は、机間巡視も小まめに行い前回の反省点を活かしていました。今回の模擬授業では遅れて参加する学生がいましたが、その学生にも授業と並行して個別に対応する落ち着いた様子に4年生たちは感心しました。



今後の成長に期待しています！！



9月20日(火)本時授業参観者による感想
『貿易の振興から鎖国へ』について～本番～

経済学部4年(女子)

喋り方がとても落ち着いていて聞きやすく、板書もノートに書きやすい構成で、とても受けやすい授業でした。

また、生徒への問いかけとグループワークの使い分けや、資料を上手く取り入れたストーリーのある授業には、最後まで惹き付けられました!!

出来れば、ひとつ目のグループワークの問いもどこかに書いておいてくれると(プリントとか、口頭でも生徒自身に必ず書かせるなど)嬉しいです。

模擬授業の感想です。

プリントを見過ぎていたので、もう少し生徒を見て、授業できると良かった。

板書の文字が斜めにならずに掛けていなかった。

最後の問いが、独占したものを2つ答えさせるような問いにするとわかりやすかった。

経済学部2年(男子) 授業者本人

プリントを見過ぎていたので、もう少し生徒を見て授業ができると良かった。

板書の文字が斜めにならずに書けていなかった。

最後の問いが独占したものを2つ答えさせるような問いにすると分かりやすかった。

学生企画責任者:佐野より

この企画を開始してから、既に10回(1回:2~3人)の模擬授業を実施しています。4年生を中心に、教育実習や教育現場(例:学童・塾・部活動指導等)での経験を活かし、同学年や後輩たちのために、多くのアドバイスをしています。学生が主体として動いていますので、先生方なしで模擬授業を行っています。自由な空間で、学生同士で語り合いながら、実習に向けての不安や悩みを話しています。

4年生である私自身も含め、何人もの人が模擬授業を実施し、その後集める感想には

「模擬授業をやってよかった」「様々な視点でアドバイスをもらえたからよかった」

「教材研究のコツがつかめる」「授業回数を重ねると、話し方などの訓練になる」等

→このような感じで、参加した学生にとってプラスになるのは确实だと私は思います。私自身も参加した学生から多くのことを常に勉強させてもらっています。教材の選び方や、発問の内容など人によって、授業方法が様々なのも、この模擬授業の醍醐味だと思いました。

後輩諸君、一緒に授業の練習をしませんか？

●「今」できることを一緒にやりましょう。教育実習までの「準備」は非常に大切です。自信がない人は、模擬授業を通して自信をつけませんか？